

## SC販売統計調査報告 2018年7月

### 既存SC前年同月比 : ▲1.9%

#### 豪雨や記録的猛暑による客数減により苦戦

##### <全体概況>

・7月度の既存SC売上高は全国的に苦戦し、総合で前年同月比▲1.9%となり、前月(同+2.3%)から4.2ポイント後退して、2ヶ月ぶりに前年を下回った。西日本を中心とした豪雨、台風や記録的猛暑などの天候不順で客足が鈍ったことが大きく影響した。また、セール開始日の月ずれや、土曜日の1日減などもマイナス要因となった。

・立地別・構成別(表1)をみると、テナント、キーテナントともに全ての立地でマイナスとなり、特に中心地域・中都市のキーテナントが前年同月比▲6.1%とマイナス幅が最も大きかった。

・立地別・地域別(表2)では、総合では全ての地域でマイナスとなった。特に、月上旬に発生した豪雨の被害が広範囲に亘った中国では、総合で前年同月比▲11.3%、中心地域は同▲13.2%とマイナス幅が大きかった。一方、大阪市中心地域の一部のSCの売上が好調な近畿の中心地域(前年同月比+1.5%)は唯一プラスとなった。

・都市規模別(表3)では、政令指定都市の総合が前年同月比▲1.1%、その他の地域が同▲2.6%となった。政令指定都市は総合で見ると、一部のSCがリニューアル効果により好調である横浜市、川崎市、大阪市はプラスを維持したが、他の10都市がマイナスとなり、特に豪雨の被害が甚大であった広島市は同▲17.5%となった。その他の地域の総合は全ての地域でマイナスとなった。

・業種毎の好調・不振をみると、テナントでは飲食とサービスの好調が続いている。一方、婦人衣料は天候要因に加え、セール開始日が6月に前倒しとなった反動もあり、不振と回答したSCが前月よりも大幅に増加した。

※サンプル数:505SC(回収率50.5%)

※本調査は、2016年12月末現在の全SC3,211SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※当協会のSC販売統計調査報告は、政府統計に合わせて消費税を含めて算出しております。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント
総合	505	▲1.9	▲2.2	▲0.9
地中 域心	大都市	▲1.2	▲1.1	▲2.3
	中都市	▲2.4	▲2.0	▲6.1
	小計	▲1.6	▲1.4	▲3.9
周辺地域	364	▲2.1	▲2.6	▲0.4

(注)

##### ■立地

中心地域:人口15万人以上の都市(東京23区を含む159都市)で、商業機能が集積した中心市街地  
周辺地域:上記中心地域以外の全ての地域

##### ■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市  
中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

地域	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
立地(SC数)											
総合	505	▲1.9	▲1.3	▲3.1	▲0.9	▲2.1	▲1.4	▲1.3	▲11.3	▲3.2	▲4.7
中心地域	141	▲1.6	▲1.4	▲2.0	▲1.1	▲1.8	▲1.3	1.5	▲13.2	▲6.5	▲5.3
周辺地域	364	▲2.1	▲1.2	▲3.6	▲0.8	▲2.2	▲1.4	▲2.3	▲10.6	▲2.6	▲4.2
(SC数)	505	17	32	199	62	31	89	29	12	34	

(注)

##### ■地域

北海道:北海道

東北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北陸:新潟県・富山県・石川県・福井県

中部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別  
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	505	▲ 1.9	▲ 2.2	▲ 0.9	
政 令 指 定 都 市	札幌市	11	▲ 1.3	▲ 1.3	-
	仙台市	5	▲ 2.7	▲ 2.7	-
	千葉市	4	▲ 5.2	▲ 5.2	-
	東京区部	55	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.8
	横浜市	16	0.7	1.7	▲ 4.5
	川崎市	9	0.9	0.9	0.5
	名古屋市	12	▲ 3.1	▲ 4.4	2.3
	京都市	7	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 0.3
	大阪市	21	1.6	1.7	0.6
	神戸市	16	▲ 4.4	▲ 6.0	4.7
	広島市	9	▲ 17.5	▲ 17.4	▲ 20.2
	北九州市	2	▲ 2.9	▲ 3.4	0.4
	福岡市	8	▲ 3.8	▲ 4.2	6.5
	小 計	175	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 0.6
そ の 他 の 地 域	北海道	6	▲ 1.6	▲ 1.5	▲ 1.8
	東北	27	▲ 3.3	▲ 4.1	▲ 1.2
	関東	115	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 0.7
	中部	50	▲ 1.8	▲ 1.1	▲ 4.2
	北陸	31	▲ 1.4	▲ 3.0	1.4
	近畿	45	▲ 2.2	▲ 2.8	▲ 0.6
	中国	20	▲ 9.2	▲ 13.2	2.3
	四国	12	▲ 3.2	▲ 4.6	▲ 1.7
	九州・沖縄	24	▲ 5.3	▲ 7.0	▲ 1.0
小 計	330	▲ 2.6	▲ 3.1	▲ 1.0	

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、

堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が、2012年4月は  
熊本市が政令指定都市となったが、さいたま市、相模原市は  
関東地域、静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、  
堺市は近畿地域、岡山市は中国地域、熊本市は  
九州・沖縄地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別  
売上高伸長率

キー業態	SC数	%
総 合	505	▲ 1.9
核なし	290	▲ 1.6
1 核	Dpt	13 ▲ 2.1
	GMS	115 ▲ 2.5
	SM	40 ▲ 1.4
	SS	2 ▲ 1.4
	HC	1 ▲ 0.8
	専門店	2 0.7
	生協	5 2.3
	Dgs	2 6.7
	小 計	180 ▲ 2.1
	2 核	Dpt+SM
GMS+SM		2 1.0
GMS+HC		1 2.7
GMS+専門店		5 ▲ 6.0
SM+SS		2 ▲ 3.7
SM+HC		1 2.4
SM+DS		1 ▲ 5.3
SM+専門店		7 ▲ 7.3
生協+HC		1 ▲ 9.5
その他		6 ▲ 2.1
小 計	28 ▲ 3.8	
3核以上	Dpt+GMS+HC	1 ▲ 2.1
	その他	6 ▲ 2.2
小 計	7 ▲ 2.2	

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積		売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均面積 (㎡)
			(千円)	前年比	(実効㎡)	前年比			
SC総合	総合	505	560,721,784	▲ 1.9	9,911,224	0.3	1,110,340	187	19,626
	中心地域	141	177,572,351	▲ 1.6	1,899,679	0.3	1,259,378	308	13,473
	大都市	67	122,295,779	▲ 1.2	1,086,258	0.2	1,825,310	372	16,213
	中都市	74	55,276,572	▲ 2.4	813,422	0.4	746,981	224	10,992
	周辺地域	364	383,149,433	▲ 2.1	8,011,544	0.3	1,052,608	158	22,010
テナント	総合	505	448,181,961	▲ 2.2	7,334,662	0.5	887,489	202	14,524
	中心地域	141	162,749,367	▲ 1.4	1,725,617	0.3	1,154,251	311	12,238
	大都市	67	113,379,343	▲ 1.1	1,024,744	0.2	1,692,229	365	15,295
	中都市	74	49,370,024	▲ 2.0	700,874	0.5	667,162	232	9,471
	周辺地域	364	285,432,594	▲ 2.6	5,609,044	0.6	784,155	168	15,409
キーテナント	総合	215	112,539,823	▲ 0.9	2,576,562	▲ 0.3	523,441	144	11,984
	中心地域	18	14,822,984	▲ 3.9	174,062	0.0	823,499	281	9,670
	大都市	4	8,916,436	▲ 2.3	61,514	0.0	2,229,109	478	15,379
	中都市	14	5,906,548	▲ 6.1	112,548	0.0	421,896	173	8,039
	周辺地域	197	97,716,839	▲ 0.4	2,402,500	▲ 0.3	496,025	134	12,195

注:売上高(総合)は、調査対象505SCの合計値です。

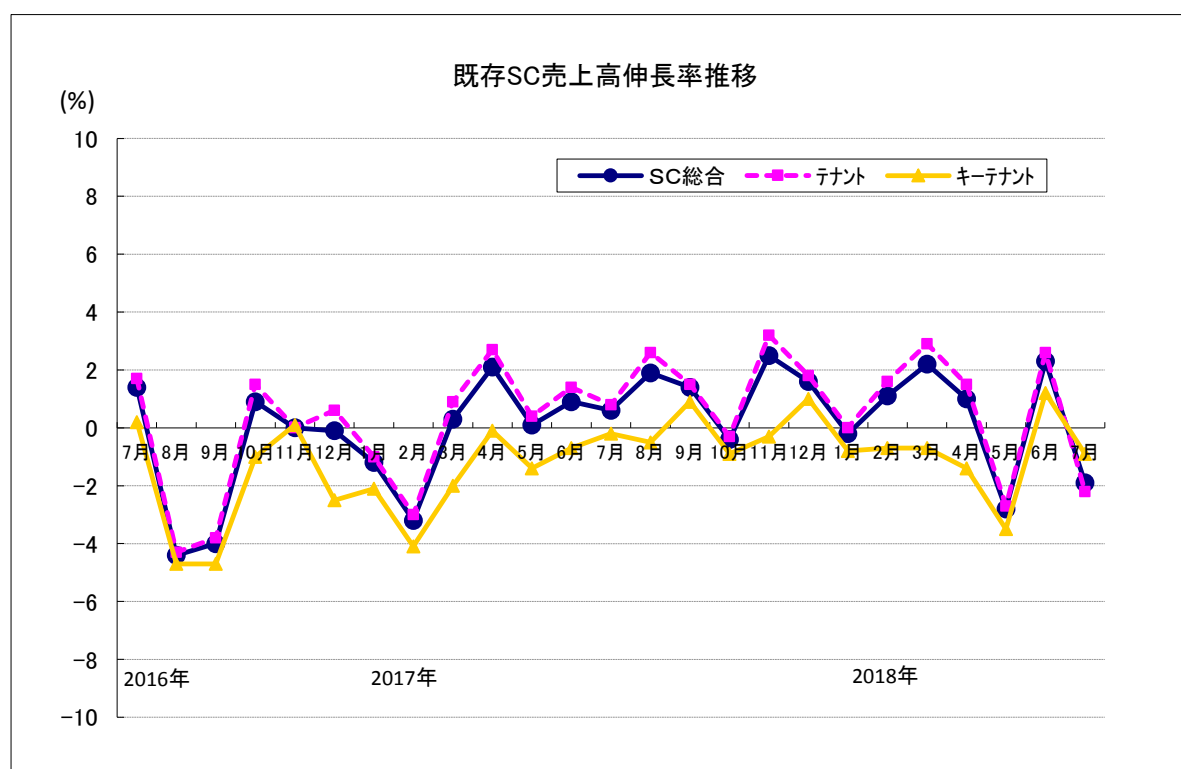


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 2.2	▲ 5.1
	01年	▲ 2.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 5.2
	02年	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.1
	03年	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 3.2
	04年	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.5
	05年	0.3	1.5	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 2.6
	06年	0.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 2.7
	07年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.4
	08年	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 4.3	▲ 0.7
	09年	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 10.1	▲ 4.3
	10年	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.6
	11年	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.8
	12年	0.5	1.5	▲ 1.6	0.3	▲ 1.9
	13年	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.3	1.6	▲ 0.7
	14年	0.1	0.5	▲ 0.9	0.3	▲ 0.6
	15年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7
	16年	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.9	▲ 0.4
	17年	0.6	1.0	▲ 0.9	0.1	▲ 0.9
2017上半期	(1～6月)	▲ 0.2	0.2	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 1.5
2017下半期	(7～12月)	1.2	1.6	▲ 0.2	0.5	▲ 0.5
2017四半期別	(1～3月)	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 2.7	▲ 1.2	▲ 2.2
	(4～6月)	1.0	1.4	▲ 0.6	0.7	▲ 0.8
	(7～9月)	1.3	1.6	0.1	1.2	▲ 0.3
	(10～12月)	1.2	1.6	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.4
2018上半期	(1～6月)	0.7	1.1	▲ 0.8	▲ 0.7	▲ 0.3
2018四半期別	(1～3月)	1.2	1.7	▲ 0.6	▲ 0.7	0.6
	(4～6月)	0.2	0.5	▲ 1.1	0.6	▲ 1.2
2017 月別	1月	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 2.1	▲ 1.2	▲ 1.6
	2月	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 3.3
	3月	0.3	0.9	▲ 2.0	▲ 0.9	▲ 1.8
	4月	2.1	2.7	▲ 0.1	0.7	0.6
	5月	0.1	0.4	▲ 1.4	0.0	▲ 1.8
	6月	0.9	1.4	▲ 0.7	1.4	▲ 1.2
	7月	0.6	0.8	▲ 0.2	▲ 1.4	0.0
	8月	1.9	2.6	▲ 0.5	2.0	▲ 0.5
	9月	1.4	1.5	0.9	4.0	▲ 0.3
	10月	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.8	▲ 1.9
	11月	2.5	3.2	▲ 0.3	2.2	▲ 0.6
	12月	1.6	1.8	1.0	▲ 0.6	0.9
2018 月別	1月	▲ 0.2	0.0	▲ 0.8	▲ 1.2	0.6
	2月	1.1	1.6	▲ 0.7	▲ 0.9	1.3
	3月	2.2	2.9	▲ 0.7	0.1	▲ 0.1
	4月	1.0	1.5	▲ 1.4	0.7	▲ 1.2
	5月	▲ 2.8	▲ 2.7	▲ 3.5	▲ 2.0	▲ 2.3
	6月	2.3	2.6	1.2	3.1	0.1
	7月	▲ 1.9	▲ 2.2	▲ 0.9	▲ 6.1	1.5
出典	日本ショッピングセンター協会			百貨店 協会	チェーン ストア協会	